



2023年度

環境保全プロジェクト助成

SOMPO環境財団では、環境問題に取り組むNPO・NGOや任意団体の皆さまの**環境保全プロジェクト**がより充実したものとなるよう、資金助成を行っています。今年度は1件あたり20万円を上限に、10件・総額200万円の助成を予定しております。

1. 対象となるプロジェクト

次の3つの条件を満たすプロジェクトが対象となります。

- ・国内において「**自然保護**」「**生態系保全**」「**ごみ問題**」「**気候・エネルギー**」等の環境分野で実践的活動を行うもの。 ※各テーマごとの活動イメージは裏面をご参照ください。
- ・原則として2023年度中に開始されるもの。(既に開始しているプロジェクトも可)
- ・継続性、発展性を持つプロジェクトであり、その成果が公益にするもの。

2. 対象団体

次の2つの条件を満たす団体を対象といたします。

- ・公益法人、NPO法人もしくは任意団体として、環境保全活動の実績が2年以上。(2023年12月末時点)
- ・助成の対象となったプロジェクトの実施状況及び収支報告について適正に報告できること。

3. 助成金額

- ・助成金額は1プロジェクトにつき**20万円**を限度とします。
(**10団体**程度・総額200万円程度を予定)

4. 助成金の使途

- ・助成対象となったプロジェクトに関するものであれば使途は問いません。

5. 応募締切日 2023年10月31日(火)(当日消印有効)

◆応募方法・詳細はSOMPO環境財団のホームページへ

<https://www.sompo-ef.org/project/project.html>



<お問合せ先>

公益財団法人SOMPO環境財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

電話 : 03-3349-4614

Eメール : office@sompo-ef.org

参考

※対象となる活動プログラムについて

申請の際は、プログラムの「活動テーマ」「アプローチ方法」について、以下の項目から選択をしていただきます。各項目のイメージは以下のとおりです。

<活動テーマ>

- 自然保護** : 森林・緑地、河川・湖沼・海洋などの環境保護に取り組むプロジェクト
- 生態系保全** : 希少種の保全や生物多様性の向上を目指すプロジェクト
- ごみ問題** : ごみの減少や資源の有効活用、リサイクルを促進するプロジェクト
- 気候・エネルギー** : 再生可能エネルギーの普及や、脱炭素社会の実現に向けて活動するプロジェクト

<アプローチ方法>

- 環境教育** : 体験活動や出前授業の実施、教材の作成、セミナーや展覧会の開催など
- 調査・研究** : データの収集・分析や新しい環境技術の開発、それらに基づく政策提言など
- 地域活動** : 住民参加型のイベントや環境意識向上を促進する啓発活動など

2022年度 環境保全プロジェクト助成先一覧

No.	団体名	所在地	プロジェクト名
1	NPO 法人本州産クマゲラ研究会	岩手県	絶滅に瀕する本州産クマゲラ個体群の 生息・生態調査及びその研究
2	小幡緑地 水生園を育む会	愛知県	ササユリ、オワリサンショウウオなど絶滅危惧種 ・希少種の保全・保護・調査
3	NPO 法人藤沢グリーンスタッフの会	神奈川県	川名清水谷戸調査（水生生物）プロジェクト -新技術「環境 DNA」を活用した生物イベントリ作成-
4	NPO 法人 nature works	大阪府	大正川の多自然川づくり
5	阿南再生可能エネルギー研究会	徳島県	海洋エネルギー発電（波力発電）の教材 兼実用化検討用縮小モデルの開発
6	つくし野ビオトーププロジェクト	東京都	野菜作りなどを通じた環境やいきもの食べ物に対する 18年目の体験的環境学習 (2023ビオトーププロジェクト×Ⅷ)
7	利尻島ウミネココロニーについて考える会	北海道	外来種陸生哺乳類からウミネコを守る！ —北海道枝幸町での取り組み—
8	ミツバチサミット実行委員会	茨城県	サイエンスカフェ in ミツバチサミット 2023
9	特定非営利活動法人 国際海洋自然観察員協会	東京都	自然体験・おもしろ講座 ～Zoom 授業&フィールドで (年3回) 海遊び、浜辺のクリーンアップ作戦～
10	NPO 法人奥雲仙の自然を守る会	長崎県	田代原高原のミヤマキリシマの現状把握 ～ミヤマキリシマの保全に向けた問題発見とその対策～

※小規模な任意団体の活動も支援対象としておりますので、ぜひ積極的にお申し込みください。